

「自立活動とICT」

～児童生徒が主体的に取り組める活動～

兵庫県立阪神特別支援学校

NPO法人 支援機器普及促進協会

理事長 高松 崇

Self-introduction

サンプル（ポッドキャストの作成）

主な活動と経歴

●本年度

京都市教育委員会 総合育成支援課 ICT専門主事

京都府 特別支援教育京都府専門家チーム（宇治支援学校SSC）外部専門家

京都府立向日が丘支援学校 相談支援センター アドバイザー

滋賀県教育委員会 特別支援教育ICT活用PJ トータルアドバイザー

長岡京市教育委員会 社会教育委員

NPO法人 支援機器普及促進協会 理事長

(株)アットスクール ICTスーパーバイザー

放課後ディサービス・フリースクール アドバイザー



●昨年度以前

京都市 呉竹総合支援学校・東総合支援学校 特別非常勤講師

京都市 携帯電話市民インストラクター

京都市 ICT活用支援員（総合支援学校ICTコーディネーター）

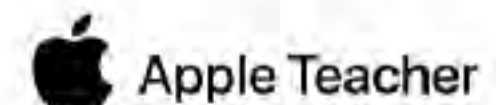
京都市 総合育成支援員（発達障害児支援）

京都市 精神障害者授産施設 京都市朱雀工房 統括職業生活支援員

京都市 地域若者サポート（引きこもり支援）

京都府教育委員会 社会教育委員

中小企業基盤整備機構 経営改善アドバイザー



私も、通所生活介護施設に通う三男がおります

18テトラソミーの子の成長

140,000人に一人という非常に出生率の低い染色体異常

（18番染色体が4本ある障害です）の我が子と同じ障害を持つ方々との情報交換の場になってほしいと思いつくりました

ブログトップ

記事一覧

画像一覧

動画一覧

このブログを検索する



powered by
Shinzi Katoh

次ページ

プロフィール



18番テトラソミー

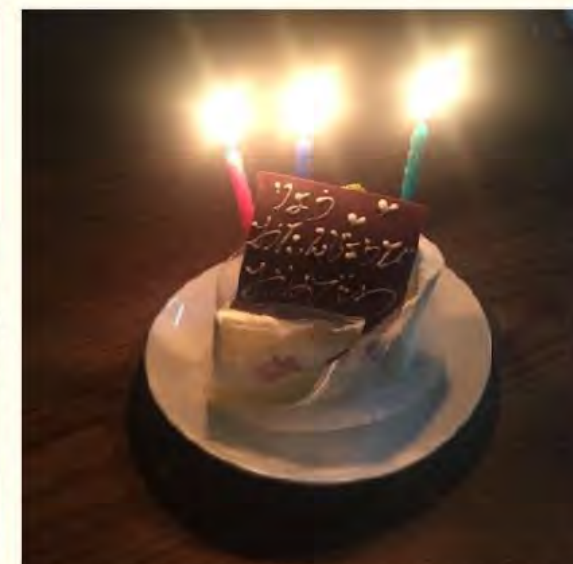
プロフィール ピグの部屋

+フォロー

...



瞭くん、成人式に参加しました



瞭君 13歳のHappy Birthday!!

AD



Societyの進化と教育の変化

卒業後の自立をイメージして指導計画を作成する

農耕民族

プラス（＋）の文化
Startからの積上げ



Goalは神頼み

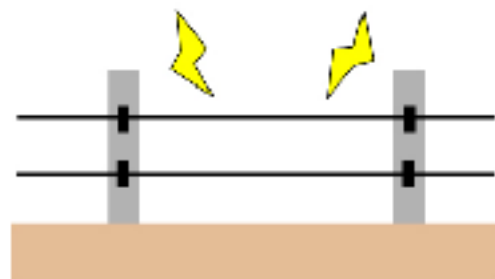
狩猟民族

マイナス（－）の文化
Goalからの逆算



Goalは自己責任（必達）

学びたいを前後に調整する工夫



食べごろ



学びごろ

教育も変化・進化・時代適応が求められています

トヨタのカイゼン活動って教育現場にもぴったり！

- 3 Mの削減
- 5 S活動の促進
- ボトムアップ式で現場主体

3 Mの削減

3 Mとはムリ・ムダ・ムラのことを指します。まずはそれぞれの概念を説明します。

ムリとは病休になる先生方増えていますよね です。

ムダとは、クレーム対応や後ろ向きな会議を言います。有名なものにはトヨタが提唱した「7つのムダ」があります。

ムラとは、キャリアに関係なく個の力量に任せられている た
例えば、仕事量や材料・完成品の品質、作業手順などが一定でないことを指します。

5 S活動の促進 タブレットの管理運営に言い換えると

5 Sはカイゼンと同じく、日本の製造業から生まれた概念です。5Sとは「整理Sorting」「整頓Setting-in-Order」「清掃Shining」「清潔Standardizing」「躰Sustaining the Discipline」の5つの頭文字を表します。それぞれの定義は下記のようにまとめています。仕事の効率化を追求するカイゼン活動において、5 S活動の促進は重要な一環です。

- 整理...必要なモノと不要モノとを分けて、使わないアプリは削除
- 整頓...必要なモノをフォルダ整理・デスクトップに置く
- 清掃...ゴミ・チリ・ホコリや汚れのないこまめなアップデート
- 清潔...整理・整頓・清掃のキャッシュをクリア（再起動）
- 躰.....整理・整頓・清掃の児童生徒・教員が習慣化する が当
たり前に守られている状態

ボトムアップ式で現場主体

業務改善は大きく2つの方法に分けられます。それは「トップダウン式」と「ボトムアップ式」です。

トップダウン式とは、経営者やリーダー陣が業務改善へ積極的に取り組み、定めた対策を一般社員に落とし込んでいくという方法です。その一方、ボトムアップ式は現場主体で取り組む業務改善のことを指します。現場から提案したカイゼン内容に対して経営者やリーダー陣が検討し、有効性と妥当性を感じれば実施するという方法です。

トヨタ式カイゼン活動の特徴は、ボトムアップ式での問題解決です。経営陣の指示で動くのではなく、現場の社員は皆で知恵を出し合い、自ら作業効率の向上を図ってカイゼン活動を実施していきます。

つまり、単純な「指示待ち」の状態から「自ら動き出す」という状態に変革することが最も重要なポイントです。このような「現場主体」の方式は社員のモチベーション・当事者意識向上にもつながるとされています。

トヨタで徹底される「5why」

教育って何のため？！

ICTの活用は何故必要？！ 　からな何故？を5回深掘りしてみよう！

トヨタで徹底される「5why」	■「5why」とは、「なぜ？」を5回問うこと。 ■5回の「なぜ」を自問自答することで、事象の因果関係や、真の原因を追究できる。
なぜ「5why」がいるのか？	■問いを、5回繰り返す目的は、「真因」にたどり着くため。 ■ファクトベースの思考こそが、真の原因にたどり着くことができる。
「5why」では、こう考える	■問いを繰り返すかどうかで、解決方法がまったく変わってくる。
「5why」は実践できるのか？	■実用できるようになるためには、普段からフレームワークで考える習慣をつけること。 ■「なぜ？」と自問自答を掘り下げること、自分起因ですべてを考えられる。

特別支援教育の目的って？！

特別支援教育の主な目的は以下の通りです：

1. **個々のニーズに応じた教育の提供**: 障害や特性に応じた柔軟な教育を行う。
2. **社会参加の支援**: 子どもたちが将来的に自立し、社会で役割を果たせるようになる。
3. **包摂（インクルージョン）の促進**: 障害のある子どもとない子どもが共に学び合える環境を作る。

特別支援教育は、障害を持つ子どもたちが社会で可能性を最大限に発揮できるよう支える重要な取り組みとして、現在も進化を続けています。

読み書き出来ない子に読み書きさせてない？！
今の授業で卒業後自立できる？！ 自立って何？！
今の学校で共に学びあえてる？！

1. 19世紀：初期の特別教育

- **起源:** 特別支援教育のルーツは19世紀のヨーロッパにあります。この時期、視覚障害者や聴覚障害者のための専門学校が設立されました。
 - 例えば、フランスでは盲学校（ルイ・ブライユが点字を開発）や聾学校（シャルル・ミシェル・ド・レペが設立）などが代表的です。
- **目的:** 障害を持つ子どもたちが社会で自立できるよう、読み書きや職業スキルを教えることを目的としました。

2. 20世紀前半：医学モデルの影響

- **発展:** 医学の発展に伴い、障害は「治療」すべき問題として認識されるようになり、特別教育は医療的な支援と密接に結びつきました。
- **目的:** 障害の種類に応じて分類し、個別の支援を提供することで、子どもたちの「欠損」を補うことが目指されました。
- **課題:** この時期は、主に「分離教育」が主流で、障害のある子どもたちは通常の学校ではなく、特別な施設で教育を受けることが一般的でした。

3. 1950年代以降：インクルーシブ教育への移行

- **背景:** 第二次世界大戦後、人権意識の高まりとともに、「障害を理由に分け隔てるべきではない」という考えが広まりました。
- **変化:** アメリカでは1975年の「障害児教育法（現IDEA法）」が成立し、障害のある子どもたちも通常学校に通えるようになりました。この流れは他国にも広がり、特別教育は「分離」から「統合」へと変化しました。
- **目的:** 障害のある子どもたちが社会の一員として成長できるよう、通常の教育環境で学ぶ機会を提供すること。

4. 21世紀：特別支援教育の確立

- **日本の場合:** 日本では2007年に「特別支援教育」が正式に導入されました。それまでの「特殊教育」から進化し、障害の有無にかかわらず、すべての子どもが適切な教育を受けられるよう支援する考え方が強調されました。
- **目的:**
 - 障害の有無に関係なく、すべての子どもが自立と社会参加を目指す。
 - 通常の学級での合理的配慮や、特別支援学級・学校での専門的な指導を充実させる。

ここまでで、改めて考えてみるキーワード

障害

自立

インクルーシブ

障害者って？！

「障害者」という区分けは、差別や排除のためではなく、むしろ適切な支援や配慮を提供し、すべての人が平等に生きられる社会を目指すために必要な枠組みとして生まれました。しかし、現在では「区別する」ことの弊害も議論されており、インクルーシブ社会の実現が求められています。

障害者の自立を促進するためには、個人の能力を引き出し、社会全体が柔軟に対応する仕組みを整えることが不可欠です。そのためには、自己決定権の尊重や合理的配慮、バリアフリーの実現が鍵となります。また、障害者自身が自分の可能性を信じて行動できる環境づくりが重要です。

インクルーシブという考え方は、誰もが自分らしく生きられる社会を実現し、全員が社会の一員として尊重されることを目指しています。この考え方は、差別や排除を減らし、すべての人が共に成長し、協力できる社会を作るために不可欠です。

障害者（私見です！）

「障害者」という区分けは、福祉的な支援を受けるための線引
インクルーシブを実現するために、スペクトラムに線引したもの
障害者は本人に帰属するもので、社会にはない（ICIDH）
福祉的な支援が無い時代には障害者という単語は存在しない！
各自のできる方法で社会参加できていたはず
なのに現代は生きづらい！！

自立活動って？！

第1款 目標

個々の生徒が自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

第2款 内容

- 1 健康の保持
- 2 心理的な安定
- 3 環境の把握
- 4 身体の動き
- 5 コミュニケーション

自立は、依存先を増やすこと

熊谷晋一郎さん（くまがやしんいちろう）

小児科医／東京大学先端科学技術研究センター・特任講師

1977年、山口県生まれ。

“障害者”というのは、「依存先が限られてしまっている人たち」のこと。健常者は何にも頼らずに自立していて、障害者はいろいろなものに頼らないと生きていけない人だと勘違いされている。けれども真実は逆で、健常者はさまざまなものに依存できていて、障害者は限られたものにしか依存できていない。依存先を増やして、一つひとつへの依存度を浅くすると、何にも依存してないかのように錯覚できます。“健常者である”というのはまさにそういうことなのです。世の中のほとんどのものが健常者向けにデザインされていて、その便利さに依存していることを忘れているわけです。

自分のできる事を知り、出来ないことは第三者に頼める



本当の自立とは？

自律スキル

自分でできることとできないことを判断できる

ソーシャルスキル

できないことについて

他の人に援助を求める
他の方法で解決できる

インクルーシブって？！

インクルーシブという考え方は、誰もが自分らしく生きられる社会を実現し、全員が社会の一員として尊重されることを目指しています。この考え方は、差別や排除を減らし、すべての人が共に成長し、協力できる社会を作るために不可欠です。

インクルーシブ教育が変えるもの - 報道特集



小学校から特別支援学級をなくしたら

みんながいる教室はいつもいつも楽しいことばかりではありません。時にはしんどいこともあるでしょう。勉強で難しいこともあるでしょう。

でも、そんな困りごとや分からないことを、自分なりの言葉で伝え、友だちがサポートしてくれ、解決に向かう。困ったことがあったら 「助けて」と言うことができるのも、それを受けて自分ができることをするのも、どちらも社会で生きていくうえで必要な力です。

この力をどの子も身につけられるようにすることこそ、小学校の使命ではないでしょうか。

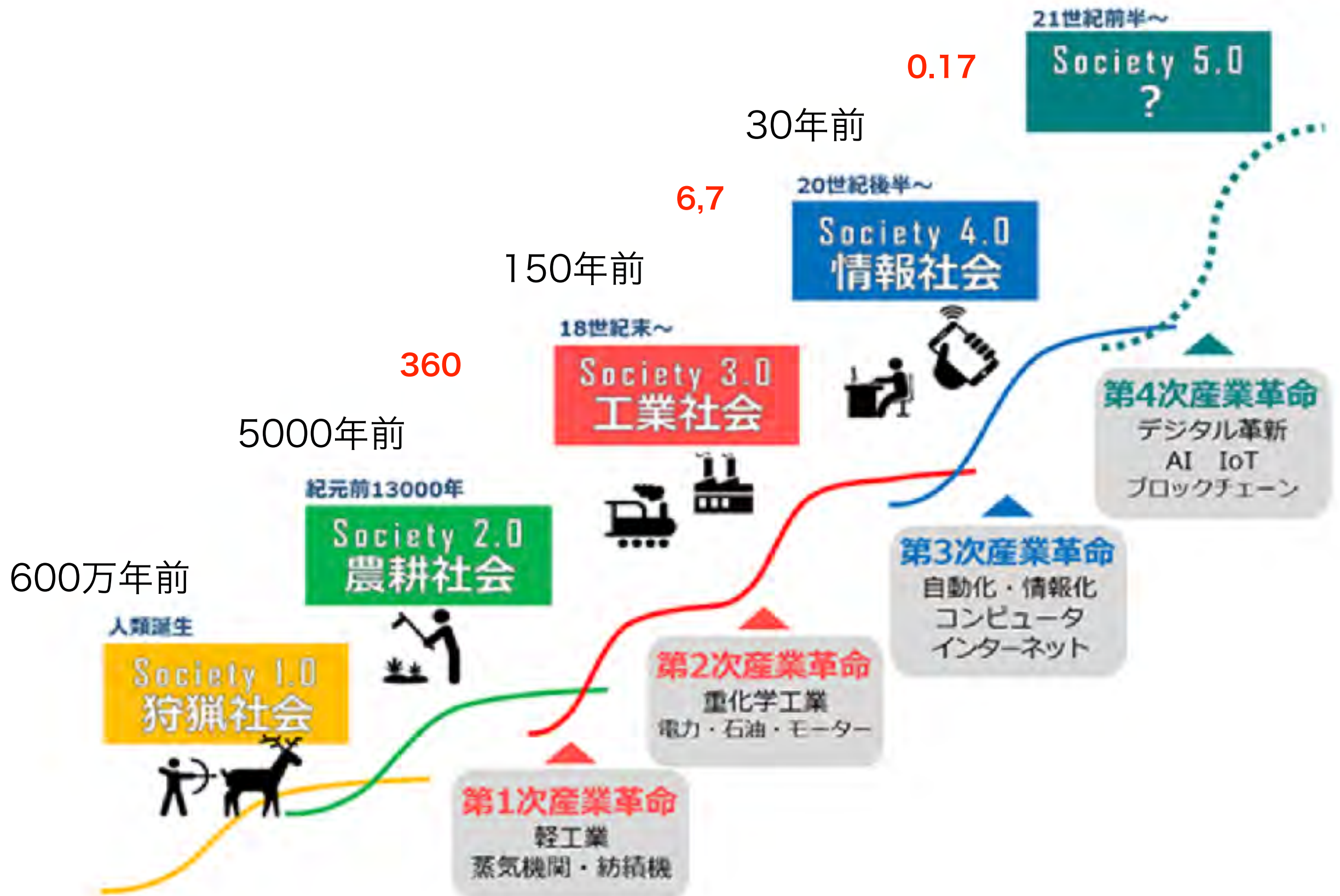
ですから、初めから違う教室へ行く、という決まりごとを作るのはどうなのか、と悩みました。

「違いがあるのが当たり前」などと言いながら、子どもたちそれぞれの違いで分けて差別しているのは誰？

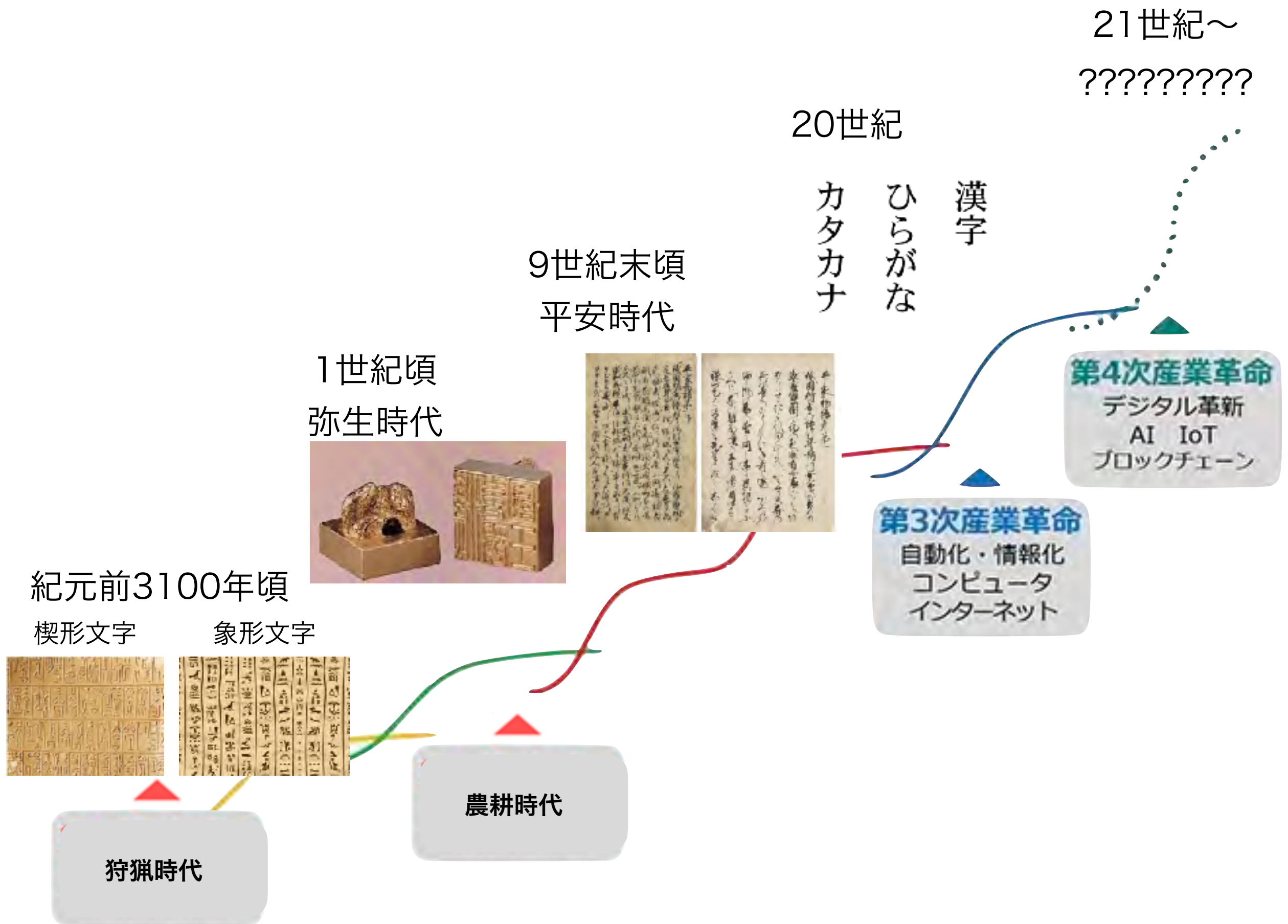
それは、学校の責任者である校長の私ではないのか。私が差別を作っているのだと思いました。

その事実を目の当たりにし、愕然となりました。

Society5.0とは



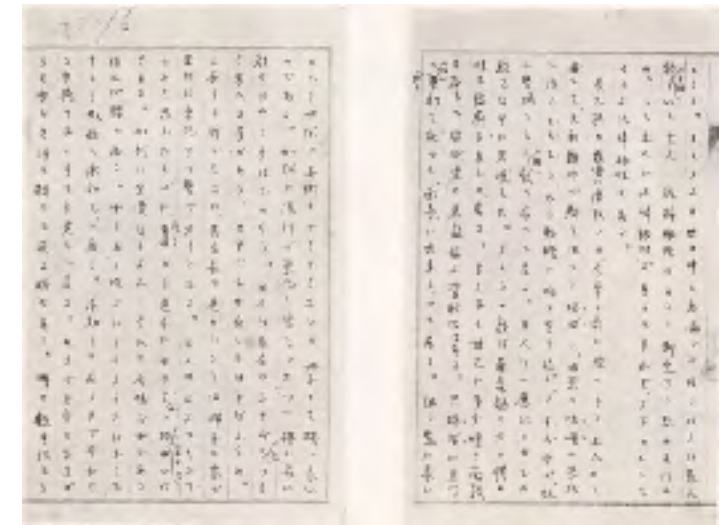
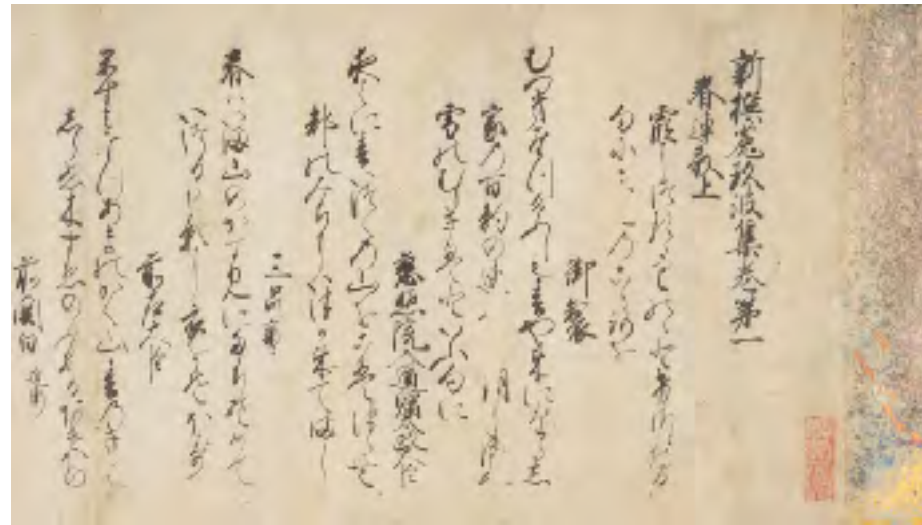
文字の歴史



文字の必要性って？！

ICT機器の無い時代（紀元前～約2000年まで）

ユビキタス（時間と場所を超えて想いを伝える重要なツール）



Society5.0時代

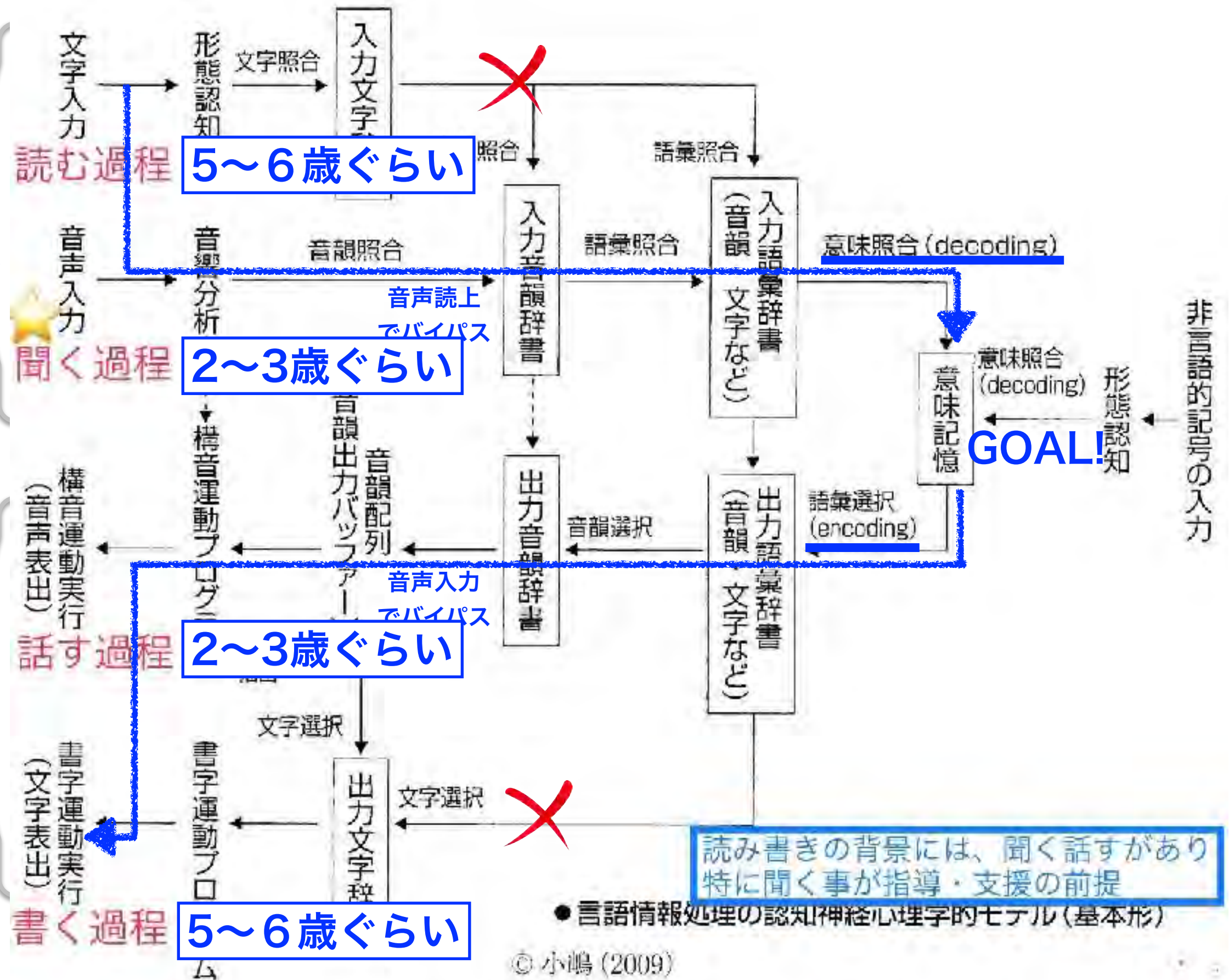
マルチメディア（動画・画像・音声・・・）



読み書きが苦手でも学習はできる

Input
する手段

Output
する手段



学びは苦行ではないはず！！
何のために学ぶ？！



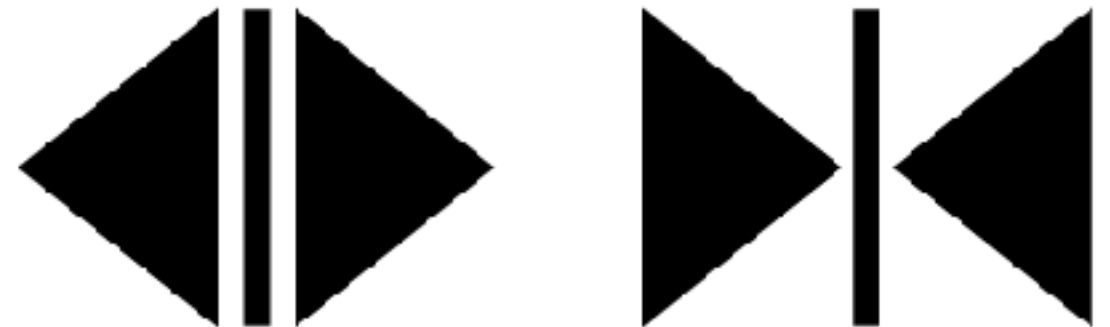
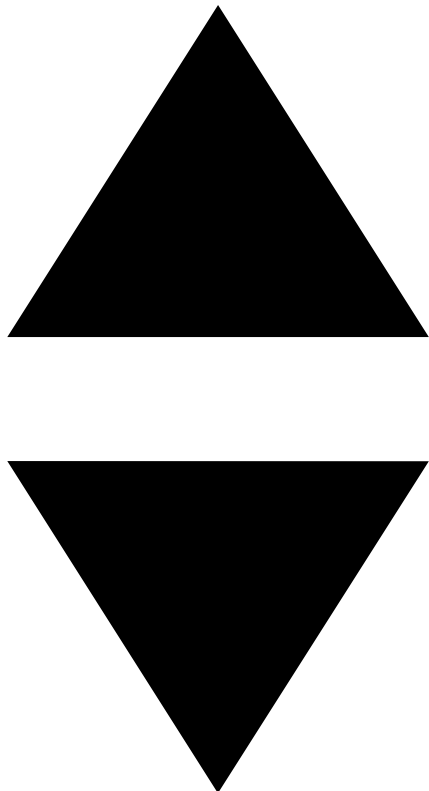
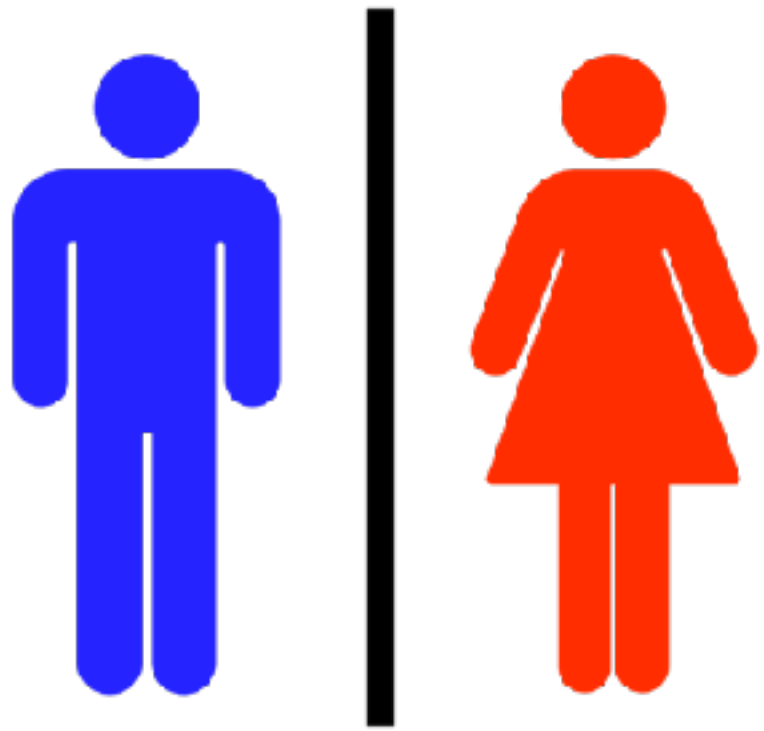
番組小学校

寺子屋

Society 2.0のまま
座ってなあかん？！
同じ事出来なあかん？！

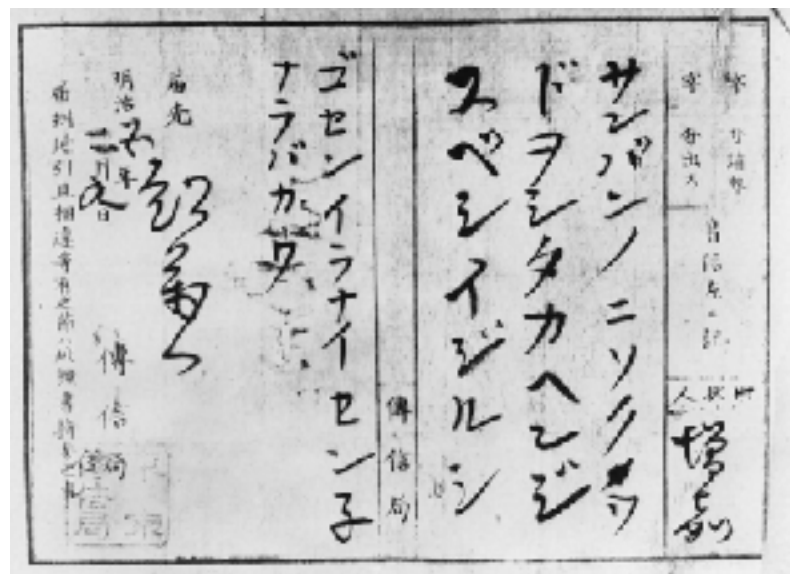


シンボルの理解は自立には重要





電報



午後2時以降に申し込むと翌日午前8時以降に届きます。

スマホ



数秒

ゲーム攻略本



ゲーム攻略動画



手紙



メール・SNS …



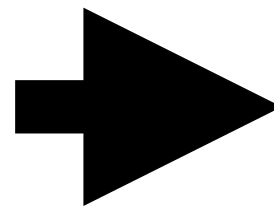
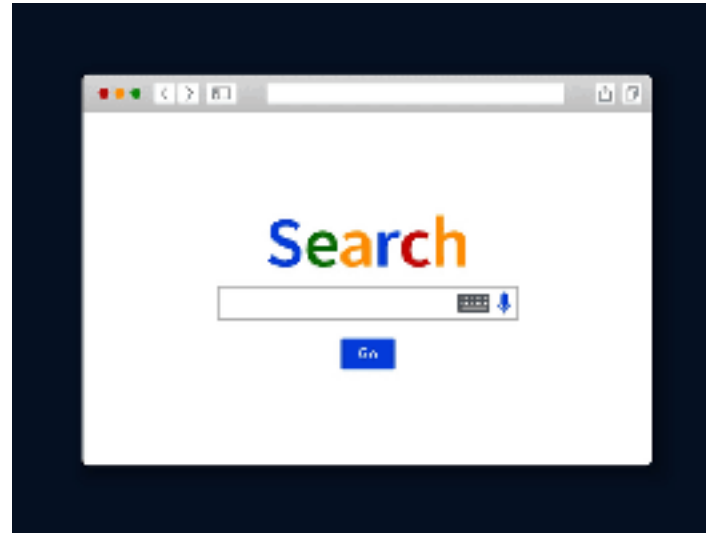
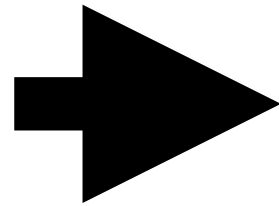
新聞



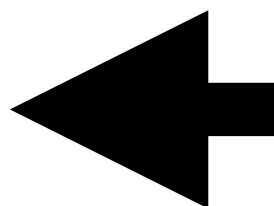
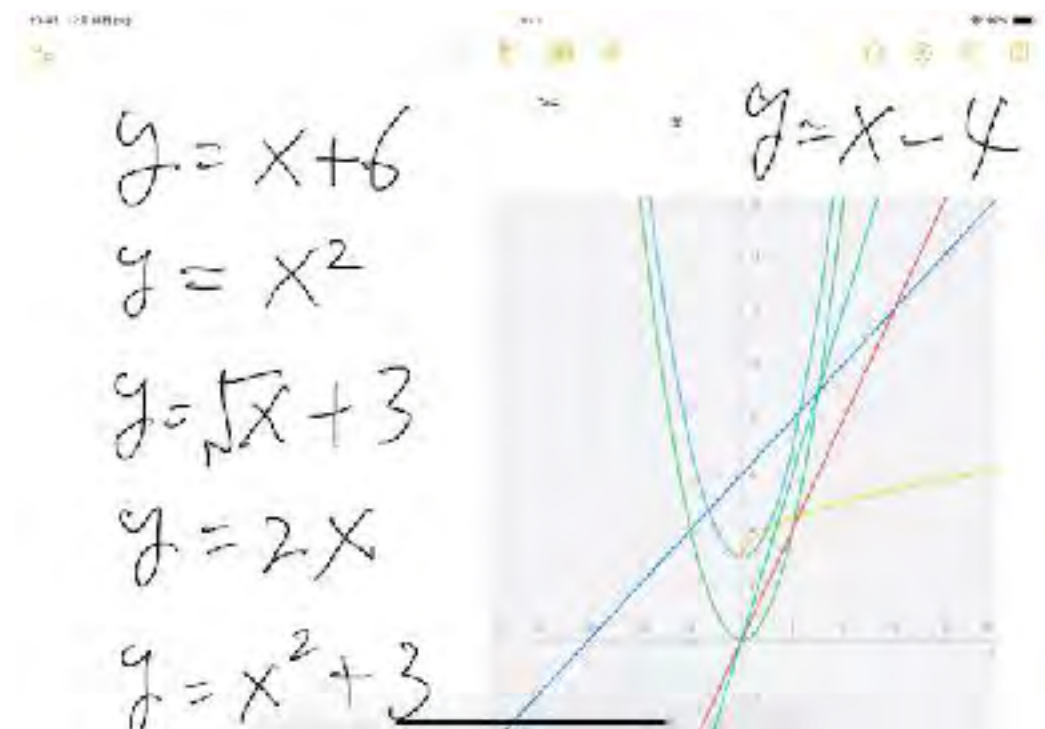
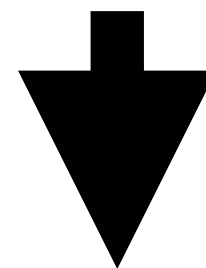
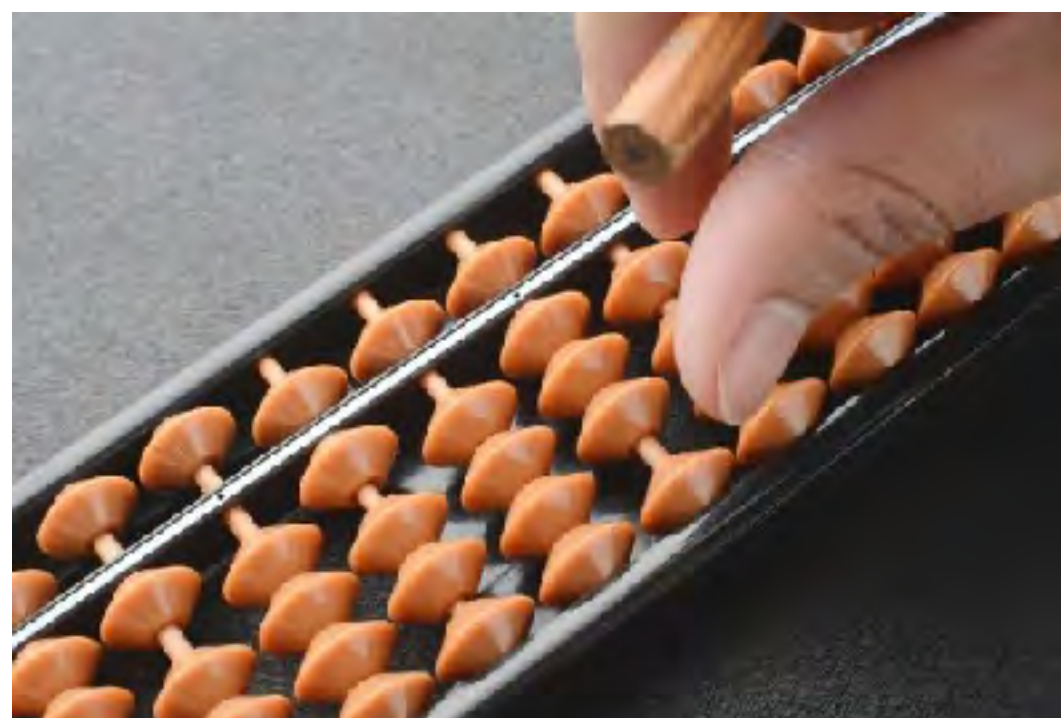
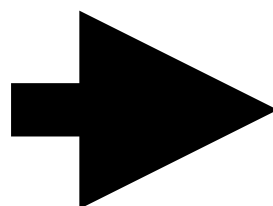
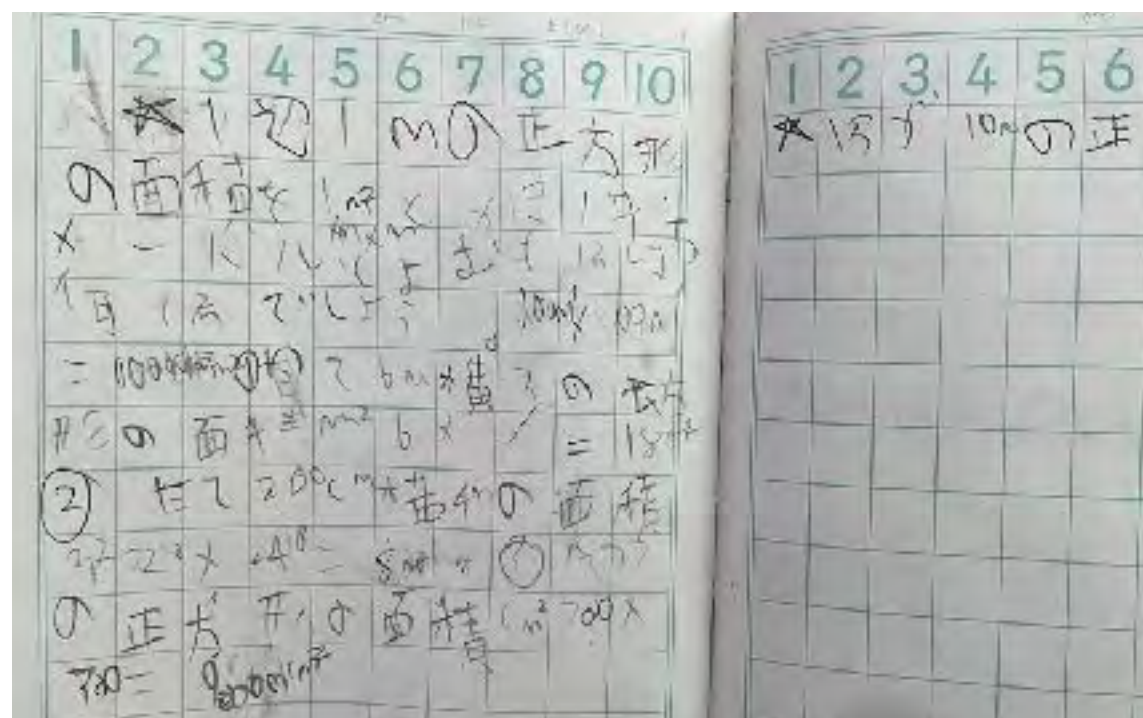
ネット



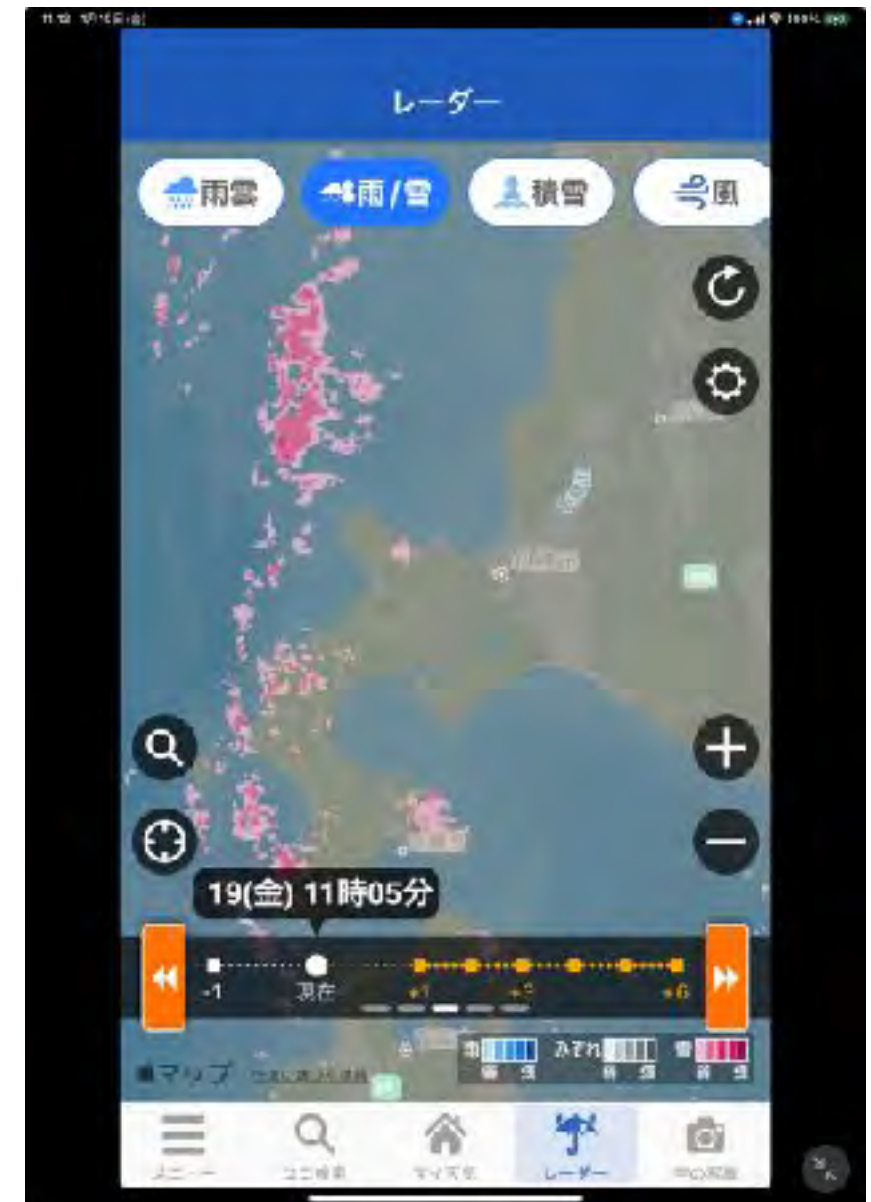
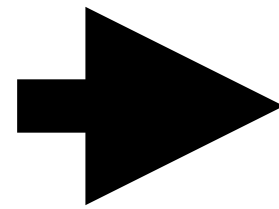
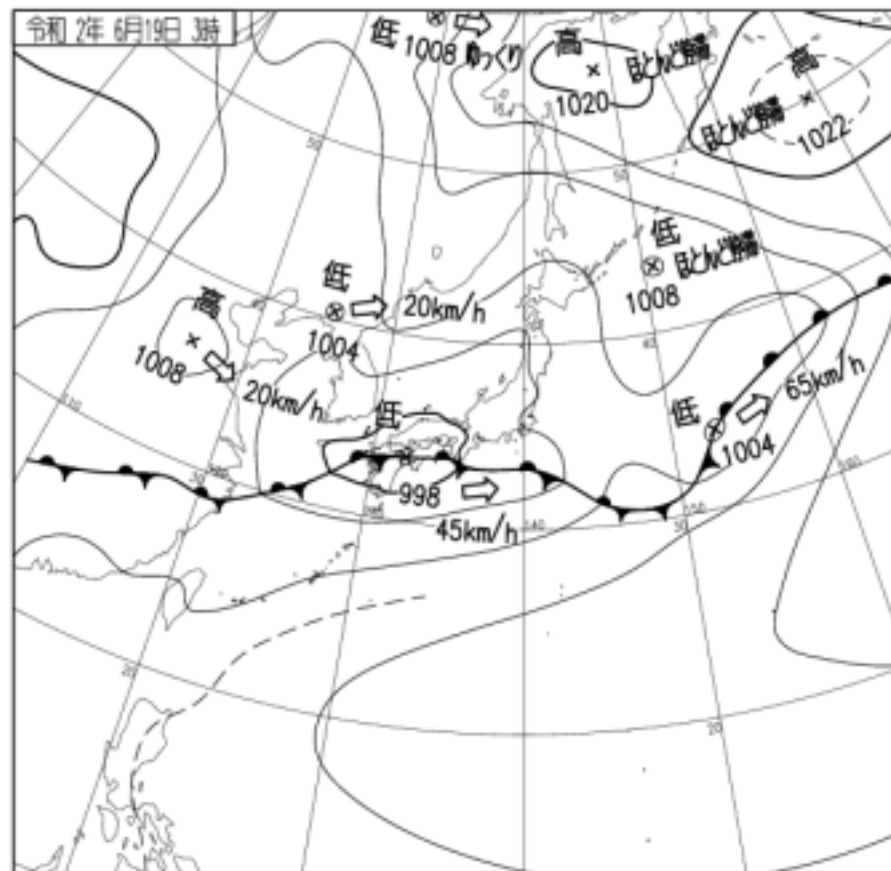
国語



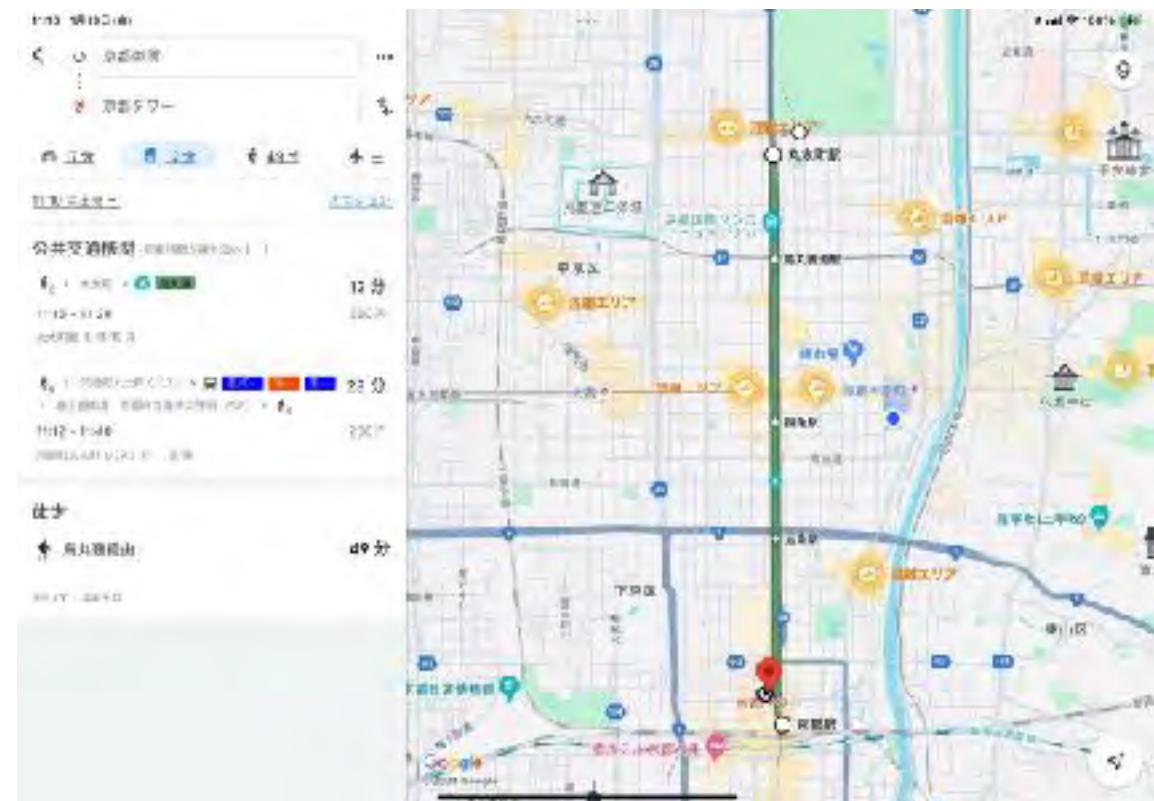
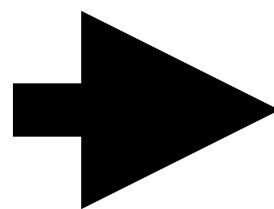
算数



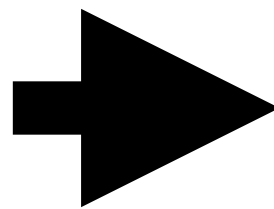
理科



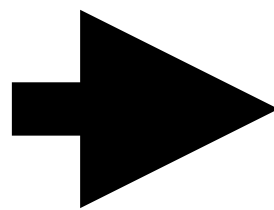
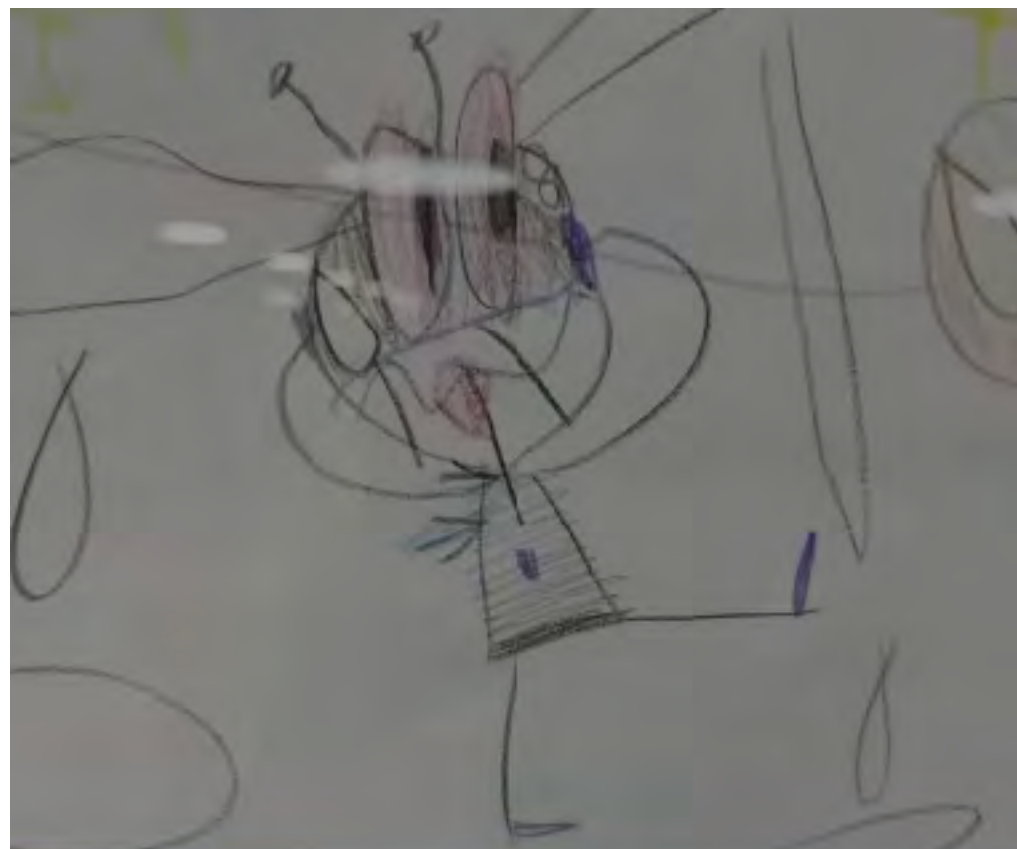
社会



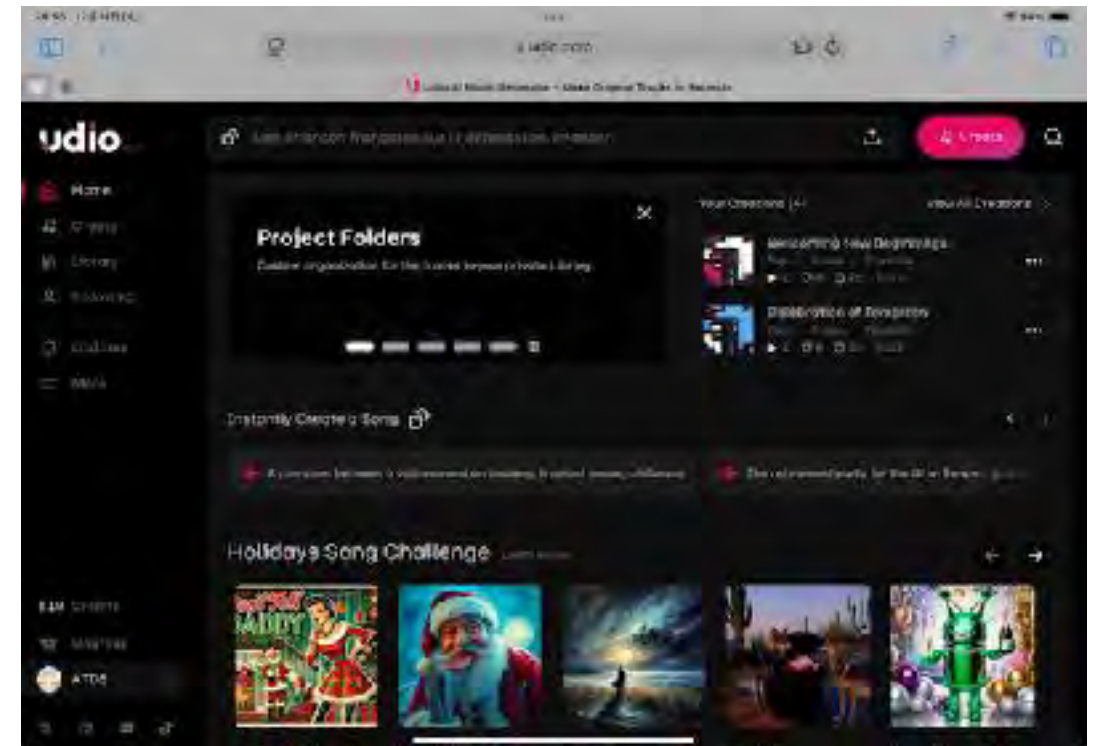
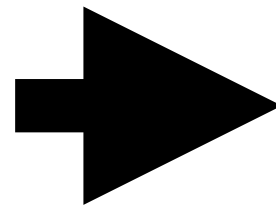
英語



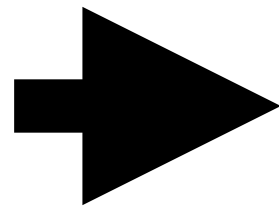
図工



音楽



生活



就労を見据えて
～良いところを伸ばす～

金澤 翔子



リト@葉っぱ切り絵



たかし ブックフォールディング



大村雪乃



Mozu













くぼりえホームページ

RIE KUBO Official Web Site



Home

News

Profile

Gallery

Blog・SNS

Shop



Shop



NEW コインパスケース

3,800円 (送料込・税込)



NEW IDケース「クレパス」

3,500円 (送料込・税込)



NEW デニムポーチ「モンスターとロボット」

3,800円 (送料込・税込)



NEW ミニハンカチタオル「ティータイム」

1,500円 (送料込・税込)



特別支援教育でのICT活用の必要性

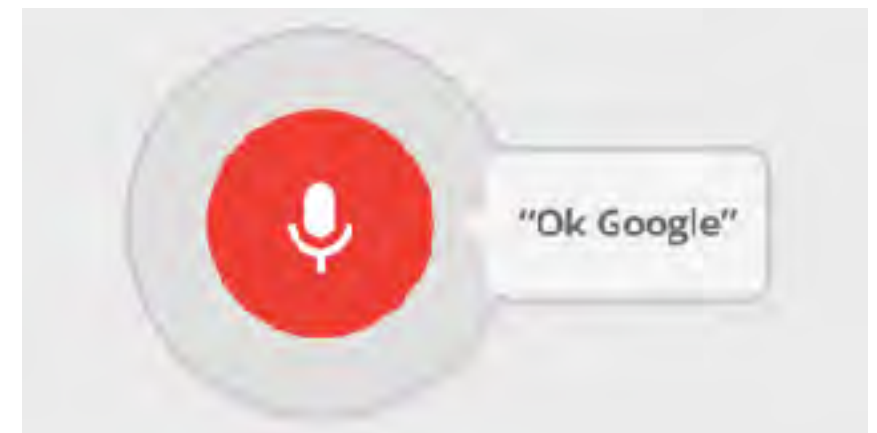
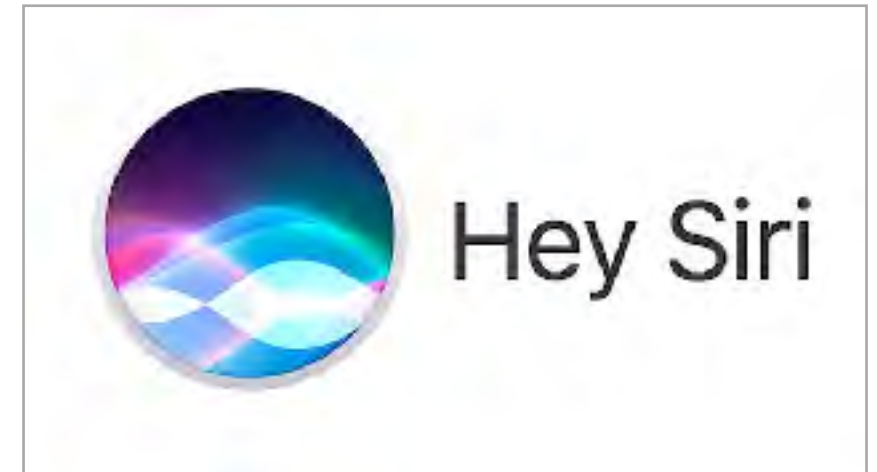
アナログとの違いは「音」と「動画」

分からなければ、調べれば良い・聞けば良い
記憶していることは知識の一番便利なツール！



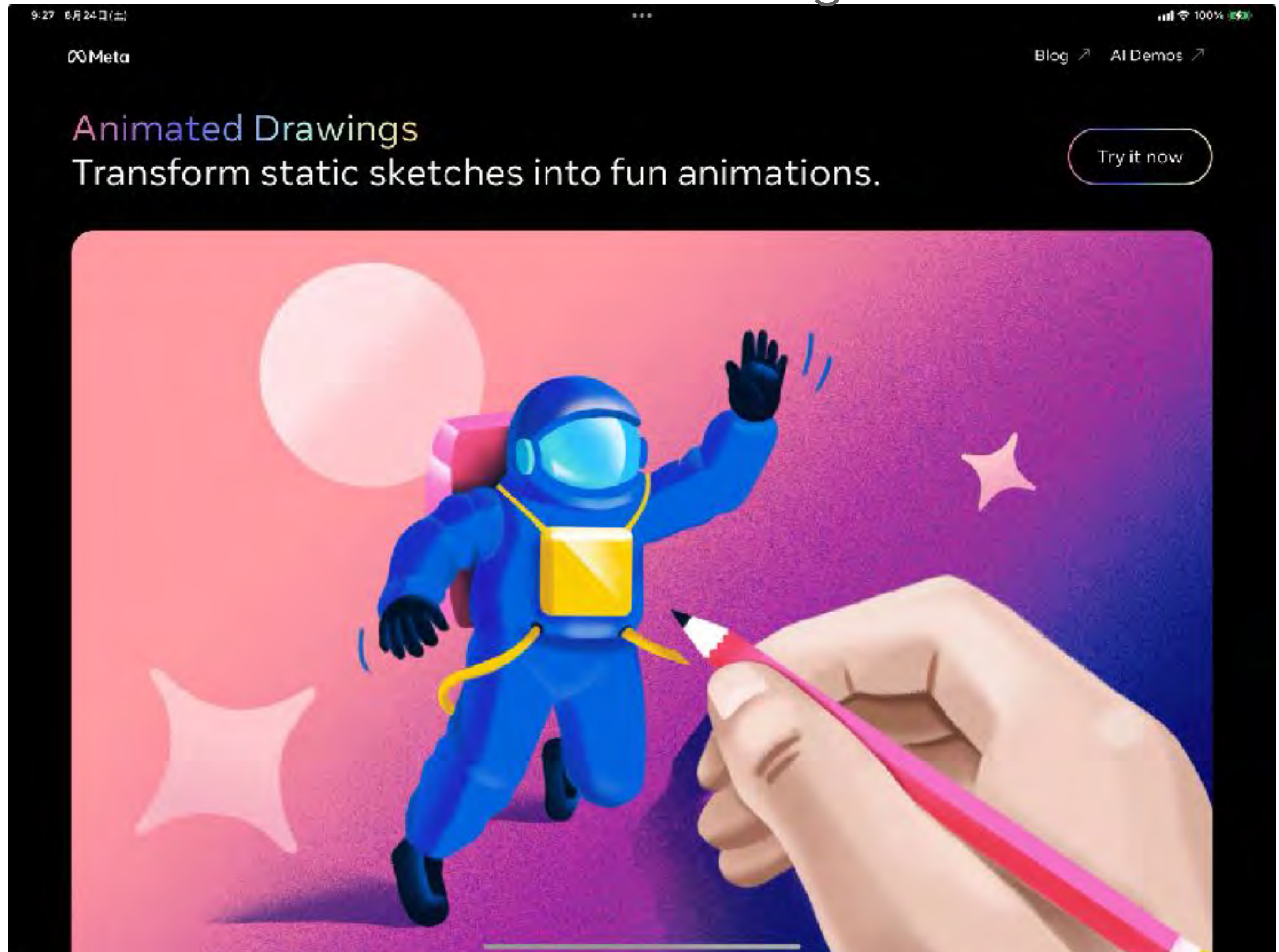
アプリを使うのは
昭和・平成世代

Aiを使うのは
平成～令和

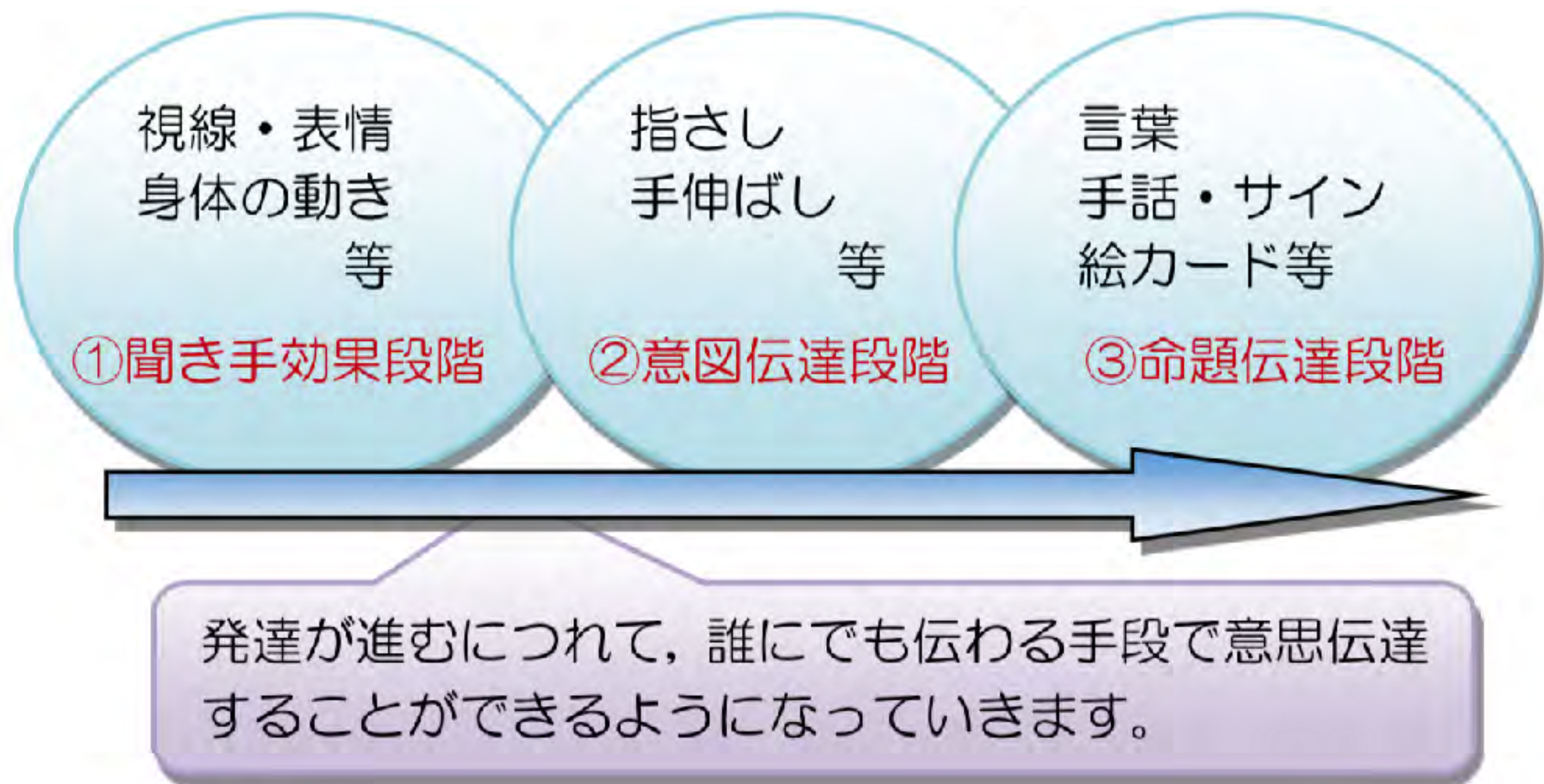


動画生成系

Animated Drawings

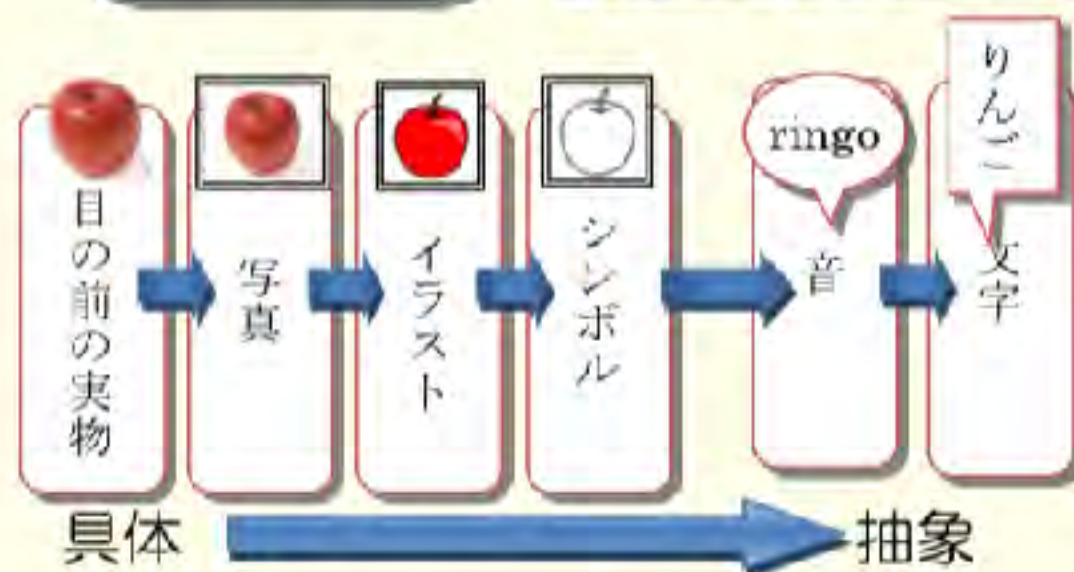


発達段階を意識する



コラム

具体から抽象へ～選択肢の高次化へ



具体的な事物の選択による意思表示が安定してきたら、次の段階として子供の認知発達に即して、選択する事物を順次高次化(抽象化)していきます。選択肢を具体物から抽象的なものに発展させることができれば、子供の意思表示のバリエーションを広げることにつながり、日常生活の中で活用しやすくなります。

そのための指導としては…

目の前の実物から写真や絵カードへの選択に発展させていくには、見本見合わせ課題(マッチング)の指導が効果的です。見本見合わせ課題は刺激を記号としてとらえる等の、概念形成、認知発達へつながります。

○見本見合わせ課題



○指導のポイント

- ③ 子供の視線や期待反応等を観察する。
- ③ 子供が見慣れた物を選択肢にするのが効果的。
- ③ 選んだ結果の一致、または、不一致をわかりやすくする。(一致した時にファンファーレを流す、できたことを充分に評価する等)

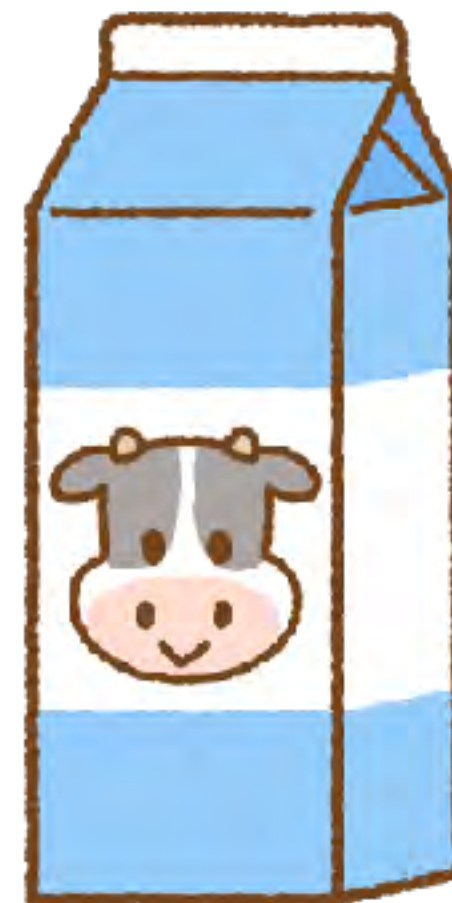
写真



イラスト



シンボル



付録

視覚支援が大切 取説よりも動画

GIGA HP「How-to-動画」に掲載 (R061105)

※支援機器・グッズ展示コーナー 紹介ビデオ <https://youtu.be/BPwkCEa-Hnc>
(2学期に追加した動画に **New** をつけています)

<iPad(GIGA)>

【ビデオ・カメラ】

<動画関連>

- ・「カメラ」でスロー撮影する方法 <https://youtu.be/d2S4sCuTTrk>
- ・「カメラ」でタイムラプス撮影する方法 https://youtu.be/N9iB_cccl_g
- ・「SkyFlow」で撮影間隔を指定してタイムラプス撮影する方法 https://youtu.be/UaLt00ad0_g
- ・「Clips」でキラキラ動画を撮影する方法 <https://youtu.be/vAfSdeJE-Uw>
- ・「Clips」で動画にキラキラや吹き出しをつける方法 <https://youtu.be/FwXEQhRUgh>
- ・「Vont」でビデオにオシャレな文字を書き込む方法 https://youtu.be/4tnNxsbrd_A
- ・「LightSpace」でキラキラ動画を作る方法 <https://youtu.be/NepIUzIkiKU>
- ・「MovStash」で動画にボカシを入れる方法 https://youtu.be/Hvh4Qt_JHa8
- ・「VBooster」でビデオの再生速度を変更する方法 <https://youtu.be/9amTBExTz6c>
研修動画より「VBooster」 https://youtu.be/5f_xxRf4-aE
- ・「VBooster」で可変速ビデオを作成する方法 <https://youtu.be/6fheWZzoejA>
サンプル_折り紙の難しいところだけを遅くしたビデオ https://youtu.be/SzWw_
- ・「Sequence」で速度を変更してダンスの練習をする方法 <https://youtu.be/fmNUdYi>
- ・「効果音アプリ」で動画に効果音を付ける方法 <https://youtu.be/JfSXTa6r9mk>
- ・「Keynote」で動画にライブカメラ映像をオーバーレイする方法 <https://youtu.be/>
- ・「CMV(CoachMyVideo)」で二つの動画を比較する方法 <https://youtu.be/pl7b2cMrBak>

(魔法のプロジェクト アプリ紹介チャンネルより) <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/howtodouga.pdf>



R03年度 10回シリーズ ミニ研修

(標準機能からのスキルアップ)

1回目	2回目	主な内容	
5/11	5/25	カメラの使い方、簡単授業活用、テレビに拡大提示	代替
6/8	6/22	様々な動画の撮影、タイムラプス、スロー	
7/6	7/13	入力の方法、音声入力、Siri、キーボードの追加	増強
9/7	9/28	画像の編集、簡単授業活用	
10/12	10/26	動画の編集、簡単授業活用	修正 変更
11/2	11/29	授業で使えるアプリ体験1 授業進行	
12/7	12/14	授業で使えるアプリ体験2 教材作成	変革
1/11	1/25	授業で使えるアプリ体験3 読み書きの代替	
2/1	2/15	授業で使えるアプリ体験4 プログラミング	
3/1	3/15	コントロールセンターの活用、アクセシビリティ解説	

自分が便利を、まず実感！
その先に、子どもたちの為に

iPad ミニ研修（10回）～GIGA スクール構想に向けて～

1 回名：初級編(代替)：基本操作，カメラの使い方，簡単授業活用，テレビに拡大提示

- ・資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/ipadmini01.pdf>
- ・動画 1(16 分) <https://youtu.be/29TcxI38zt0>
- ・動画 2(15 分) https://youtu.be/C2VI93o_EyI
- ・動画 3(13 分) https://youtu.be/NKvD3_Jhwm4

2 回名：初級編(代替)：様々な動画撮影，タイムラプス，スロー

- ・資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/ipadmini02.pdf>
- ・動画 1(14 分) <https://youtu.be/ptz0sCJMCh8>
- ・動画 2(7 分) <https://youtu.be/u2Vfu905uIg>
- ・動画 3(3 分) <https://youtu.be/EffqIgl-0E4>

3 回目：初級編(代替)：入力の方法，音声入力，Siri，キーボー

- ・資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/ipadmini03.pdf>
- ・動画 1(12 分) <https://youtu.be/rQrcSnVNzAc>



R04年度 10回シリーズ ミニ研修

(学校行事にあわせたiPad活用法)

呉竹	東	主な内容
5/10	5/13	vBooster Teams QRコードで運動会のダンス練習
6/7	6/10	クラスルームの操作練習
7/5	7/4	Googleアプリ 画像検索機能で夏休みの宿題 (スクショで保存)
9/6	9/1	Phonto で校内のポスター作成
9/27	9/14	Googleアプリ 3D表示で文化祭のビジュアル大道具作成
10/11	10/7	iMovie でクリスマス会の予告編ムービー作成
11/1	11/18	Keynote でニュース番組作成
12/6	12/9	Clips でキラキラ発表会をしてみよう！
1/10	1/20	Pages でマルチメディア卒アル作成
1/31	2/1	GrageBand で泣かせる卒業式の曲作り

年間の学校行事に合わせた 効果的なiPad活用法

iPad ミニ研修 2022 (10 回)

- 学校行事で使えるようなアプリの活用方法を紹介 -

1 回名：運動会のダンス練習動画の作成（カメラ、vBooster、Teams、QR コード）

- ・資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/2022mini/01.pdf>
- ・動画 1 <https://youtu.be/0Oq721xkNAI>
- ・動画 2 <https://youtu.be/VRhYnGIDy3c>
- ・動画 3 <https://youtu.be/ey615PVVPFo>

2 回名：2 回名：クラスルームの操作練習（ClassRoom）

- ・資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/2022mini/02.ndf>
- ・動画 1 <https://youtu.be/m14iTMXgb-s>
- ・動画 2 <https://youtu.be/pfvplgsDec0>

3 回目：3 回目：Google アプリ 画像検索機能で夏休みの宿題

（Youtube 視聴制限、Quiver、Google アプリで画像検索、えにっきアプリ、Ski

- ・資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/2022mini/0>
- ・動画 1 <https://youtu.be/4MvTw6hzzrE>
- ・動画 2 <https://youtu.be/tWv7VNW7VbA>
- ・動画 3 <https://youtu.be/OmTvZh3W0Mc>



R05年度 10回シリーズ ミニ研修

(教科横断を意識した教科指導)

主な内容		
5/		生活・職業（手洗い・作業支援・・・）
6/		国語（語彙・かな・漢字・・・）
7/		社会（地域調べ・・・）
7/		算数・数学（数唱・足し算・九九・図形・時計・・・）
9/		理科（生き物・観察・・・）
10/		音楽（合奏・作曲・・・）
11/		図工（お絵かき・デジタル制作・・・）
12/		保健体育（ダンス体操・振り返り・・・）
1/		英語（ヒアリング・スピーキング・翻訳・・・）
2/		家庭科（レシピ作成・調理・・・）

教科学習で使える iPad実践

iPad ミニ研修 2023 (10 回)

- STEAM 教育 教科横断 教科学習で使えるアプリの実践 -

1 回名 : (小) 生活 (手洗い・作業支援・・)

- ・ 資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/2023mini/01.pdf>
- ・ 動画 1 <https://youtu.be/kfn62dahzcA>
- ・ 動画 2 https://youtu.be/6FvqVQ3_Eg
- ・ 動画 3 <https://youtu.be/v35j2DApvdw>
- ・ 動画 4 <https://youtu.be/egeAPAyKqE0>

2 回名 : (中) 理科 (生き物・観察・・)

- ・ 資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/2023mini>
- ・ 動画 1 <https://youtu.be/UzQmWCMHsqA>
- ・ 動画 2 <https://youtu.be/7S94p4CmTJc>

3 回目 : (中) 社会 (地域調べ・・)

- ・ 資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/2023mini>
- ・ 動画 1 <https://youtu.be/Ok4-kjuPkLQ>
- ・ 動画 2 <https://youtu.be/KFs2ieZph4w>
- ・ 動画 3 <https://youtu.be/-YzB0DUlOXo>



R06年度 10回シリーズ ミニ研修

(個に応じた教材作り わかるって楽しい！)

主な内容

- | | |
|------|-------------------------------|
| 第1回 | 素材(素材)の作り方 |
| 第2回 | Keynote |
| 第3回 | どれかな？ |
| 第4回 | Bitsboard Flashcards & Games① |
| 第5回 | Bitsboard Flashcards & Games② |
| 第6回 | DropTap |
| 第7回 | Make It |
| 第8回 | OMLETつくるんです |
| 第9回 | Kahoot! |
| 第10回 | Canva |

個に合わせた教材作成 iPad実践

iPad ミニ研修 2024 (10回)

－ 教材作成 －

1 回名：素材の作り方

- ・ 資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/2024mini/01.pdf>
- ・ 動画 1 <https://youtu.be/y4uBQGVUu-E>
- ・ 動画 2 https://youtu.be/L_9MUiPbP68

2 回名：Keynote

- ・ 資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/2024mini/02.pdf>
- ・ 動画 1 <https://youtu.be/Xbt6-FYRlAs>
- ・ 動画 2 <https://youtu.be/N8Cd0ajGoi4>

3 回目：どれかな？

- ・ 資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/2024mini/03.pdf>
- ・ 動画 1 <https://youtu.be/EASMyn7ilos>
- ・ 動画 2 <https://youtu.be/BOq8LwWBC24>

4 回目：Bitsboard Flashcards & Games -ボード（カード）の作成-

- ・ 資料 <http://www.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/2024mini/04.pdf>
- ・ 動画 1 <https://youtu.be/wQvkPk26Nps>
- ・ 動画 2 <https://youtu.be/lzih0lcGxGg>



R07年度 10回シリーズ ミニ研修

(合理的配慮での活用法)

主な内容

- | | |
|------|--------------------|
| 第1回 | iPadOS18の基本的な便利機能 |
| 第2回 | カメラ・写真アプリは基本 |
| 第3回 | 読むことの困難 |
| 第4回 | 書くことの困難 |
| 第5回 | 聞くことの困難 |
| 第6回 | 話すことの困難 |
| 第7回 | 計算することの困難 |
| 第8回 | 覚えること・推測することの困難 |
| 第9回 | 運動の困難 (DCD) |
| 第10回 | コミュニケーションの困難 (ASD) |

まとめ

学びの源泉

楽しい！！ わくわく！！ 知りたい！！

教員のさせたいことではなく



児童・生徒のしたいこと

Technology

の先に何が・・・



周囲や環境が変わることが重要！

障がい者（障碍者）

本人に障害がある



障害者

本人の周（社会）に障壁がある

欠点のない人など存在しないが、その欠点または個性といえるものは、もしかすると障害とグラデーションのように繋（つな）がってしまいか。

障害者と健常者の境とはどこにあるのだろうか？最近、共生社会とよく耳にする。共生とは、そもそも異質なものの同士が一緒に生きられるということで、もちろん一人ひとり違うのであるから、そういう意味でなら共生は必然である。しかし、共生の中には優れた者、強い者が弱者と一緒に包含して暮らせることを指してはいないだろうか。確かにそういう面は私も否定しない。しかし、見方を大きく変えてみると誰もがほとんど障害者かもしれないのである。わざわざ共生社会と言うことによって差別や区別を生んではいまいか？隣人は皆、同胞であるかも。

みんな遅かれ早かれ、出来なくなりますよ！

年をとると...

見えなくなる（読めなくなる）
聞こえにくくなる
覚えられなくなる（忘れやすい）
歩きにくくなる（歩けなくない）
手が震える（細かい作業が困難）
書くことが困難になる
食べにくくなる
話しにくくなる

...

代替手段が必要になるんです！！

そのひとつがICTの活用です

児童生徒は出来なくて困っているんです。

→ルーペ・拡大鏡
→補聴器・スピーカー
→メモ・リマインダー
→車椅子・車
→誰かにやってもらう
→キーボード・スマホ

代替手段を知っているから自己解決
出来るんですよ！！

子どもたちの困りを我が事として考えてください

まだ、頑張らせますか??

努力すれば出来るようになりますか??

別の方法を知れば自立出来るかも...

子どもたちには12年間の学びの全てです



ATDS

Assistive Technology Dissemination Society

NPO法人支援機器普及促進協会

<http://npo-atds.org>

<https://www.facebook.com/takamatsu.takashi>